

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 22.12.8 第 176 回国会第 6 号（閉会中審査）

12 月 8 日（水）第 6 回の委員会が開かれました。

## 1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・鹿野農林水産大臣、平野内閣府副大臣、篠原農林水産副大臣、菊田外務大臣政務官、吉田財務大臣政務官及び松木農林水産大臣政務官に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 網屋信介君（民主）

- ・国営諫早湾干拓事業について、潮受堤防排水門の開門を国に命じる福岡高裁の判決（12 月 6 日）を受け、今後、どのように対応していくのか。
- ・カロリーベース食料自給率への貢献が低いとされる野菜や茶、畜産などの生産振興について、農林水産大臣はどのように考えるか。
- ・口蹄疫に関し、今後の家畜伝染病予防法の改正等に当たり、発生県以外の近隣県にも配慮した対応が必要だが、どのように考えるか。

### 今井雅人君（民主）

- ・地球温暖化対策税の導入に当たり、その用途に森林吸収源対策を位置付けるべきではないか。
- ・平成 23 年度予算概算要求の森林管理・環境保全直接支払制度（仮称）では、搬出間伐に限定して支援するとされているが、伐捨間伐についても地域の実情を考慮した対応をすべきではないか。
- ・公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の施行（10 月 1 日）を踏まえ、今後、具体的にどのような対策を講じていくのか。

### 今村雅弘君（自民）

- ・国営諫早湾干拓事業に係る福岡高裁の判決を重く受け止め、農林水産大臣は潮受堤防排水門の開門を判断すべきではないか。
- ・平成 23 年産米の都道府県別の生産数量目標について、生産調整未達成県の数量が増えているが、生産調整への協力・非協力県との間の不公平感を是正する観点から、生産調整達成県に配慮した配分とすべきではないか。
- ・環太平洋パートナーシップ（TPP）協定について、「包括的経済連携に関する基本方針（平成 22 年 11 月 9 日閣議決定）」と民主党の「経済連携推進についての提言」で

は、関係国との協議に係る表現が異なっているが、政府はどのように考えるか。

### 石田祝稔君（公明）

- ・島根県で発生した鳥インフルエンザ及び韓国で発生した口蹄疫について、現状と対策はどのようになっているか。
- ・農業者戸別所得補償制度について、山田前農林水産大臣は来年の通常国会に法案を提出すると答弁していたが、農林水産大臣はどのように考えるか。
- ・平成 22 年度の米戸別所得補償モデル事業について、変動部分に係る予算規模で対応可能な米価水準はいくらか。

### 吉泉秀男君（社民）

- ・米戸別所得補償モデル事業の変動部分について、想定を超える米価の下落に対しても対応するというメッセージを発すべきではないか。
- ・平成 23 年産米の生産数量目標が面積換算で 150 万 ha となり、米以外の転作面積が水田の 4 割を占める状況について、どのように考えるか。
- ・平成 23 年産米の都道府県別の生産数量目標に係る算定根拠・基準はどのようなものか。

### 伊東良孝君（自民）

- ・我が国の調査捕鯨について、農林水産大臣の基本認識いかん。
- ・平成 20 年 4 月の本委員会決議「南極海鯨類捕獲調査事業への妨害活動に対する非難及び調査事業の継続実施等に関する件」の内容を実現するために、政府はどのような取組をしているのか。
- ・EU との経済連携協定（EPA）交渉は、その影響試算等を行い、関係者の理解を得た上で始めるべきではないか。

## 小 里 泰 弘君(自民)

- ・本年宮崎県で発生した口蹄疫に係る出荷遅延対策の助成金等の農家への支払いが遅れているが、支払い予定日はいつか。
- ・不測の事態に備えて食料自給力は確保されるべきだが、食料安全保障について農林水産大臣はどのように考えるか。
- ・現政権はTPPを梃子にして強い農業をつくらうとしているようだが、農業の将来像やその実現に向けての道筋・財源をどのように考えるか。

## 宮 腰 光 寛君(自民)

- ・国営諫早湾干拓事業に係る福岡高裁の判決について、国は上告すべきではないか。
- ・国営諫早湾干拓事業に関して、仮に5年間常時開門調査を行った場合の地元農家への影響やその対策に必要な費用について、どのように考えるか。

## 2 農林水産関係の基本施策に関する件(口蹄疫問題等)

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

(参考人) 日本獣医師会会長・口蹄疫対策検証委員会座長

山 根 義 久君

弁護士・口蹄疫対策検証委員会委員

郷 原 信 郎君

(独)農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所

企画管理部長・口蹄疫疫学調査チーム長

津 田 知 幸君

(質疑者及び主な質疑内容)

## 道 休 誠一郎君(民主)

- ・韓国で口蹄疫が蔓延している中で日本の水際対策について山根参考人及び津田参考人はどのように評価しているか。
- ・大規模経営農場において早期の通報等が確実に行われるようにするための方策について郷原参考人はどのように考えるか。
- ・口蹄疫の早期発見のために畜産農家、行政、一般住民が注意すべきことについて各参考人はどのように考えるか。

- ・口蹄疫の発生時における農業共済や民間の獣医師の活用について山根参考人はどのように考えるか。

## 石 田 祝 稔君(公明)

- ・口蹄疫の侵入防止のための具体的な水際対策について山根参考人及び津田参考人はどのように考えるか。
- ・獣医師の育成について山根参考人はどのように考えるか。
- ・口蹄疫発生農家と発生しなかった農家の違いについて津田参考人はどのように考えるか。

## 江 藤 拓君(自民)

- ・疫学的な調査のルール作り、口蹄疫の診断指針の作成及び行政機関に対する立入調査権等の付与について津田参考人はどのように考えるか。
- ・疑似患畜発生農家とワクチン接種農家に対する支援に不公平感が存在することが今後のワクチン接種に与える影響について郷原参考人はどのように考えるか。

## 吉 泉 秀 男君(社民)

- ・外国における埋却以外の処理方法等について津田参考人の見解を教えてほしい。
- ・種雄牛の取扱いなどの国と県の考え方の違いについて郷原参考人及び津田参考人の感想を聞きたい。
- ・国、県、市町村、生産者の連携の今後の在り方について山根参考人はどのように考えるか。